

■ 一般目標 (GIO)

生理学をはじめとする他の基礎歯科医学，および臨床歯科学を学ぶための基礎知識を身につけるために，人体の基本構造について系統的に区分しながら学習する。

■ 到達目標 (SBOs)

- ・ 全身を構成する骨の名称と形態を説明できる。
- ・ 筋の形状と分類を形態学的に理解し，筋の起始と停止，および収縮による運動様式を説明できる。
- ・ 心臓の位置と構造を説明できる。
- ・ 全身に分布する動脈，静脈，およびリンパ管の概要を理解する。
- ・ 消化器と付属器の種類，基本構造と働きを説明できる。
- ・ 泌尿器系を構成する臓器の構造と働きを説明できる。
- ・ 生殖器系を構成する臓器の構造と働きを説明できる。
- ・ 内分泌器官の種類と位置，および働きを説明できる。
- ・ 神経の役割と神経細胞の種類について理解する。
- ・ 中枢神経と末梢神経の種類と分類を説明できる。
- ・ 感覚器の種類と構造を説明できる。

■ 教科書：1 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学（医歯薬出版）  
2 必要に応じて参考資料を配布する。

■ 参考書：特に指定しない。

■ 授業時間：火曜日 15：00～16：50

■ オフィスアワー：大橋 晶子 火曜日 17:00～18:00 (oohashi.akiko@nihon-u.ac.jp)

■ 授業の方法：教科書の内容を中心に，プロジェクトを利用した講義形式で進める。

■ 準備学習・ 事前に基本的な内容を，教科書を読んで理解しておくこと。各々授  
準備学習時間：業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

■ 成績評価方法：課題およびレポート（30%）と定期試験（70%）で評価する。

■ 注意事項：毎回，教科書を持参すること。授業中に話す重要事項については必ずノートに記載すること。4月23日の授業は第6実習室（本館地下1階）において骨の観察を行う。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 4月9日 大橋 晶子	1. 解剖学総論 1) 体の部位 2) 位置と方向	・ 解剖学を学ぶ意義を理解する。 ・ 体の部位，位置，および方向を示す解剖学用語について理

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	(教1) pp. 1～8 2. 骨 1) 種類と構造 2) 発生と連結 (教1) pp. 46～56	解する。 ・ 骨の種類と基本構造を学ぶ。 ・ 膜内骨化と軟骨内骨化を理解する。 ・ 骨の連結様式を理解する。
第3・4回 4月16日 大橋 晶子	2. 骨 3) 全身の骨 (教1) pp. 56～63	・ 体幹を構成する骨の種類を理解する。 ・ 上肢帯と下肢帯を構成する骨を理解する。 ・ 自由上肢骨と自由下肢骨を理解する。
第5・6回 4月23日 大橋 晶子	2. 骨 4) 骨の観察 (教1) pp. 56～63	・ 全身の骨を観察しながら、個々の骨の名称を覚え、それらの形態を理解する。
第7・8回 4月30日 大橋 晶子	3. 筋 1) 形状と分類 2) 起始と停止 (教1) pp. 64～70	・ 筋の形状と分類を形態学的に理解する。 ・ 筋の起始と停止の意味を理解する。 ・ 筋の収縮と体の運動様式を理解する。
第9・10回 5月7日 大橋 晶子	3. 筋 3) 全身の筋 (教1) pp. 70～79	・ 全身の筋の概要を理解する。
第11・12回 5月14日 大橋 晶子	4. 脈管 1) 種類と役割 2) 体循環と肺循環 3) 心臓 (教1) pp. 109～114 pp. 121～128	・ 脈管には動脈、静脈、リンパ管があることを理解する。 ・ 体循環と肺循環の違いを理解する。 ・ 心臓の位置と形態および構造を理解する。
第13・14回 5月21日 大橋 晶子	4. 脈管 4) 動脈系 (教1) pp. 139～143	・ 全身に分布する動脈の概要を理解する。
第15・16回 5月28日 大橋 晶子	4. 脈管 5) 静脈系 6) 胎生期の循環 7) リンパ管 (教1) pp. 143～153	・ 全身に分布する静脈の概要を理解する。 ・ 胎児の脈管の概要を理解する。 ・ リンパ管の種類およびリンパ性器官について理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第17・18回 6月4日 大橋 晶子	5.内臓 1)消化器 (教1) pp. 84～97	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口腔から始まる消化管の基本構造を理解する。</li> <li>・ 消化管の付属器の種類と働きを理解する。</li> </ul>
第19・20回 <b>6月11日</b> <b>1・2時限</b> 大橋 晶子	5.内臓 2)呼吸器 (教1) pp. 213～225	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鼻腔から肺に至る呼吸器の基本構造を理解する。</li> </ul>
第21・22回 6月18日 大橋 晶子	5.内臓 3)泌尿・生殖器 4)内分泌器 (教1) pp. 234～238 pp. 259～263	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泌尿器の構成を理解する。</li> <li>・ 男性と女性の生殖器の基本構造を理解する。</li> <li>・ 内分泌器官の種類と位置を理解する。</li> </ul>
第23・24回 6月25日 大橋 晶子	6.神経 1)神経とは 2)脳脊髄液 3)脳の血管 (教1) pp. 144～146 pp. 155～158	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神経の役割を理解する。</li> <li>・ 神経細胞の種類について理解する。</li> <li>・ 髄膜と脳脊髄液の流れを理解する。</li> <li>・ 脳を栄養する血管を理解する。</li> </ul>
第25・26回 7月2日 大橋 晶子	6.神経 4)中枢神経 (教1) pp. 179～195	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大脳, 間脳, 中脳, 橋, 延髄, 小脳, 脊髄の位置と大まかな構造を理解する。</li> </ul>
第27・28回 7月9日 大橋 晶子	6.神経 5)末梢神経 (教1) pp. 196～204	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脳神経と脊髄神経の種類を理解する。</li> <li>・ 自律神経系は交感神経と副交感神経に分類されることを理解する。</li> </ul>
第29・30回 <b>7月16日</b> <b>1・2時限</b> 大橋 晶子	7.感覚器 1)外皮 2)視覚器 3)平衡聴覚器 (教1) pp. 156～178	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 皮膚の感覚受容器の種類と分布を理解する。</li> <li>・ 眼球と副眼器の基本構造を理解する。</li> <li>・ 平衡聴覚器の構成を理解する。</li> </ul>